

第2学年 国語科 学習指導案

令和4年10月27日（木）第5校時

- 1 単元名・教材名** 三郷市の魅力を「Wikipedia」の編集者に提案しよう。
多様な視点から「魅力的な提案をしよう」

2 生徒の実態と本単元の意図

本学級の生徒は、落ち着いた雰囲気での学習を行うことができる。教師の問いかけに対する反応が良く意欲的であるといえる。特に、話す・書くといった表現する活動において積極的に取り組むことができ、自分なりの考えを伝えようと努力したり、オリジナリティを追求し工夫しようとする姿が見て取れる。一方で、話を集中して聞き理解しようとする、長文や難解な語句で書かれた文章を読んで理解することに苦手意識が強く、一度つまずくと思考を止めてしまう傾向があるため、適宜支援を必要とする。

また、生徒たちの自立した読みを実現するためにこれまで「書くために読む」ということを意識した授業づくりを行ってきた。「書くために」何度もテキストを読み返したり、時には複数のテキストを比較しながら読むことを積み重ねてきたりしたことで、生徒たちの様子に細部まで読み込もうとする姿勢の変化が見られていると感じている。

情報の扱い方については、総合的な学習の時間や学級活動と教科横断的な指導を行ってきた。生徒たちは、「多様な方法で情報を集めよう」「問いを立てながら聞く」の学習において、情報を発信する際に、情報源となるものの出典やWEBサイトのリンクを提示しなければならないことを理解している。しかし、適切な根拠を示すことや情報の信頼性を検証するといったことにはまだまだ経験が必要であると捉えている。

本単元では、相手が何を知りたいのかを考え、情報を集め、資料や機器などを活用して自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する力を身に付けさせたい。そこで主体的な学習を促す言語活動として、「三郷市の魅力を Wikipedia の編集者に提案しよう（単元名）」を位置付けた。

生徒たちは、三郷市の魅力を伝えるため世界中の人々に発信すべき情報はないかを調べ、その内容を提案していく。その際、情報発信の対象が全世界の人々となることや、情報発信する立場を理解し、誰にとってもわかりやすい内容にする必要がある。そこで、生徒にはアカデミック・ライティングという視点を意識して、提案する内容を検討・表現するよう指導していく。学習のゴールは、Wikipedia の編集者に魅力的な提案を行うことで、実際に Wikipedia に掲載されることを目指すものである。生徒は一貫して、よりよい提案になるよう自分のグループの改善を図る。さらに、他のグループの発表を聞く際もよりよい提案を目指してアドバイスをを行うことで、指導事項の着実な定着を図ることができると考える。本単元のいずれの指導事項も今の情報化社会を生きていく生徒たちに有意義になる力であるため、本単元を通して、生徒たちが実生活へと還元していくことを目指したい。

今回は、プレゼンテーションの作成に指導の主軸を置くのではなく、発表に至るまでの過程で身につくと予想される「情報の扱い方」、特に、適切な根拠の示し方や情報の信頼性を検証する力を指導することに視点を向けていく。「Wikipedia」はデジタルアーカイブと

しての側面を持っている。デジタルアーカイブとは、公文書などの公的資料に限らず、出版物や芸術作品といった文化財なども含む知的財産をデジタル化したうえで保存し、さらにそのデータを公開することで、多くの人がインターネット上で共有・利用できる仕組みを指す。オリジナル資料の物理的な損傷を防いだり、情報へのアクセスを簡易化したりと、知的財産の継承に大きく役立つものである。三郷市は、市制施行して50年になるが、Wikipediaを見ると、その歴史や文化を紡ぐような情報が多いとは言えない。多くの郷土資料は図書館にあるのみで、万が一災害等で失われてしまったらと想定すると、ここに学習活動の必要性を見出すことができると考えられる。

※「ウィキペディアタウン」について

今回の言語活動は、「ウィキペディアタウン」をもとに考案したものである。「ウィキペディアタウン」とは、その地域にある文化財や観光名所などの情報をインターネット上の百科事典「Wikipedia」に掲載し、さらに掲載記事へのアクセスの容易さを実現した街のことである。日本では、街そのものを指す語句よりも、対象となる地域で街歩きを行い、街の魅力となる史跡や観光名所について、実際に見聞きしたことをウィキペディアに記載するイベントを「ウィキペディアタウン」としている。平成30年には、埼玉県立熊谷図書館で開催されている。

※参考資料として

「地域資料デジタルアーカイブに市民参加型ウィキペディアタウンが果たす意義」を別紙にて添付する。

3 単元の目標

- (1) 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解できる。
〈知識及び技能〉(2) ア
- (2) 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝えあう内容を検討することができる。
〈思考力、判断力、表現力等〉A (1) ア
- (3) 資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。
〈思考力、判断力、表現力等〉A (1) ウ
- (4) 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
〈学びに向かう力、人間性等〉

4 本単元における言語活動

情報を整理し、編集・加筆すべき内容を提案する。

(関連：言語活動例A (2) ア)

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ((2)ア)	①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ②「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	①進んで集めた情報を整理するとともに、情報の信頼性を検証し、学習課題に沿って、提案する内容を検討しようとしている。

6 指導と評価の計画(全6時間扱い)

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	○学習のねらいや進め方を理解し、学習の見通しをもつ。 ○教師による提案を見る。 ○三郷市の「Wikipedia」を参照し、どんなことを記載したらよいかを個人で考える。	○単元の見通し ○学習語彙の意味 ○「ウィキペディアタウン」の目的 「デジタルアーカイブ」の意義 ○学習のゴール ○三郷市の「Wikipedia」における記載内容	○生徒が見通しをもって学習に取り組めるように、目的意識、相手意識、単元のゴールについて明確に示す。 ○実際に Wikipedia に掲載されることを目指すことで主体的な学習に繋がられるようにする。 ○特に「デジタルアーカイブ」の側面とその価値を理解させ、活動への意欲につなげる。 ○教師の提案から、生徒自身が、学習内容を捉えられるようにする。 ○「Wikipedia」の三郷市のページの情報が少ないことを確認する。
2	○グループごとに編集会議を開き、個人の意見を出し合いながら、編集する項目と情報収集の手段を検討する。 ○情報収集を WEB サイ	○「Wikipedia」を編集する項目 ○情報収集の方向性 ○三郷市の史跡や観	○「デジタルアーカイブ」の意義を想起させて検討させる。 ○情報収集の幅が広がり過ぎないように、方向性を絞るよう指示する。 ○Wikipedia の編集者の立場を理解し、提案内容の検討できるようにする。

	<p>トや本を活用し情報収集をする。</p>	<p>光地、ローカルな情報など</p>	<p>【知識・技能①】 <u>ワークシート・観察</u> ここでは、情報をワークシートに整理していくことで、情報と情報の関係を理解し、話し合いに使っているかを確認する。</p>
<p>3</p>	<p>○編集会議を開き、集めた情報を整理し、情報の信頼性を確かめながら、編集する内容の絞り込みを行う。 ○自分たちの考えが明確に伝わる話の構成を検討する。</p>	<p>○三郷市の史跡や観光地、ローカルな情報など ○情報として有益であるもの ・新聞 ・パンフレット ・WEB ページ ・蔵書 ・雑誌 など ○有益でないもの ・インタビューなど検証しようのないもの</p>	<p>○複数の情報を比較することで、より信頼性が高まることを理解させる。 ○情報の出典を記録するよう指示する。 ○Wikipedia の編集者の立場を考え、提案する内容の構成を検討できるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現①】 <u>話し合い・ワークシート</u> ここでは、目的に応じたスライド作成を行うために、伝える内容をどのような構成・文言にするかについて、検討しているか確認する。</p>
<p>4</p>	<p>○グループで分担し、発表用のスライドを作成する。(進行案の作成も含む) ①「三郷市の魅力について」広く知らせたい事物 ②なぜそのことについて載せた方がよいと考えているのか？ ③その根拠、出典等も含めて ④実際に「Wikipedia」に記載する文章について ⑤活動を通しての感想 ○発表の練習</p>	<p>○スライドの構成 ○発表の仕方 ○「Wikipedia」の書かれ方 ○情報の示し方 ○発表の仕方</p>	<p>○学習課題の目的と自分たちのグループで決めた方向性とにずれがないか確認するよう指示する。 ○記述する際には、アカデミック・ライティングを用いることを確認する。 ○提示資料は必要最低限にする。</p> <p>【思考・判断・表現②】 <u>スライド・発表の様子</u> ここでは、資料や機器を用いるなどして、考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫しているか確認する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】 <u>ワークシート・観察</u> ここでは、学習課題に沿って、集めた情報を整理するとともに、編集する内容を検討しようとしているかを確認する。</p>

<p>⑤ 本時</p>	<p>○グループごとにスライドを用いて、「Wikipedia」の編集する内容を提案する。(動画撮影する)</p> <p>○提案について、他グループへフィードバックする内容を検討する。</p>	<p>○各グループの提案の内容</p> <p>○意見と根拠の在り方</p> <p>○提案の構成、説得力</p>	<p>○発表を聞く際に、提案の内容が、前時までに学習した内容が活かされているかという視点と目的に即したものであるかどうか注意して聞くように指示する。</p> <p>○実際に「Wikipedia」に載せてもらうために、提案の構成や根拠の持たせ方など、よりよくできないかを検討させる。</p> <div data-bbox="935 707 1442 904" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考・判断・表現②】 スライド・発表の様子 ここでは、資料や機器を用いるなどして、考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫しているか確認する。</p> </div>
<p>6</p>	<p>○前時に撮影した、自グループの発表を視聴する。</p> <p>○フィードバックをもとに、提案内容を修正し、必要であれば、再度動画を撮影する。</p> <p>○単元の振り返りを行う。</p>	<p>○自分たちの発表の様子</p> <p>○フィードバックの内容</p> <p>○学習活動を通した自分なりの成長</p>	<p>○提案内容だけでなく、声の調子や視線などにも着目する。</p> <p>○フィードバックを全部うのみにする必要はないことを確認する。</p> <div data-bbox="935 1227 1442 1469" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】 ワークシート・観察 ここでは、学習課題に沿って、集めた情報を整理するとともに、編集する内容を検討しようとしているかを確認する。</p> </div> <p>○振り返り際には、「学習前から学習後での自分の考えの変化」「今後どのように学びを活かすか」に触れるよう指示する。</p>

7 本時の学習指導(本時5/6時)

(1) 目標

- 資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。

〈思考力、判断力、表現力等〉(A)ウ

(2) 評価規準

- 「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 **【思考・判断・表現】**

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
1 前時までの学習を振り返り、本時の課題を確認する。		○これまでにまとめてきたワークシートや資料を確認させる。	2
	「Wikipedia」の編集者に対する提案を撮影しよう。		
2 提案の準備について最終確認をする。	○タブレット ○シナリオ ○出典の明記	○進行に戸惑って、提案内容の説明がおろそかにならないようによく確認させる。	10
3 グループごとに提案をする。 ・各グループ3分 ・全6グループ	○発表の内容 ①「三郷市の魅力について」広く知らせたい事物 ②なぜそのことについて載せた方がよいと考えているのか？ ③その根拠、出典等も含めて ④実際に「Wikipedia」に記載する文章について ⑤活動を通しての感想	【思考・判断・表現②】 スライド・発表の様子 ・ここでは、資料や機器を用いるなどして、考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫しているか確認する。 〈「努力を要する」状況(C)への手立て〉 ・スライドに書かれていることを、そのまま読むだけで、わかりやすく補足することができなかった生徒についてはCと判断し、事前に配布した発表の手引きを示しながらフィードバックする。	20
4 提案について、他グループへフィードバックする内容を検討する。	○提案内容に対する改善の視点 ○根拠の示し方	○指定されたグループに対して行うが、余裕があればその他のグループの提案についても検討するように指示する。	10
5 本時のまとめをする。		○グループ提案時の「活動の感想」から拾った言葉でまとめていく。	3
	情報発信の目的と対象を意識したり、情報の出典を根拠としたりすることで、より説得力のあるプレゼンテーションが可能になる。		
6 学習の振り返りをする。		○自分なりの成長があったか、これからの学習に向けた目標や課題はあるかを振り返らせ、次の学習へ主体的に向かえるようにする。	5
	〈期待される生徒の振り返り〉 出典を記すことで、根拠が明確になったので、自信をもって発表することができた。他のグループの提案も説得力があった。発表する前の準備の大切さを理解できた。今後、こういった発表をするときにも役立てていきたい。		